



## 自作ロボで「宇宙」へ運べ

県内外  
21チーム 湯沢市で東北大会

小中高生が自作したロボッ  
トを高さ2・5メートルの目標物と  
の間を歩き来させ、ピンポン  
球を運ぶ「宇宙エレベーター  
ロボット競技会」の東北大会

21チームが出場、量や動きの  
正確さなどを競った。  
宇宙エレベーターは研究が  
宇宙ステーションをイメージ

プログラミングした自作ロ  
ボットの動きを見守る出場  
者

進められている乗り物で、地  
球の上空約3万6千キロの静止  
衛星に入、物を輸送すること  
を目指す。

競技の目標物はリング状で

している。テザーと呼ばれる  
走路がぶら下げられており、  
プログラミングされモーター  
で動くロボットが下してピン  
ポン球を運搬する。地上か  
ら目標物に運ぶリジショナル  
部門と、別の目標物に置かれ  
ている球の持ち帰りを加え  
たグローバル部門で争われ  
た。

同部門で県勢最高の2位だ  
った由利工業高校「山影一鳥」  
の阿部永侃さん（3年）は  
「思い通りにロボットが動か  
ない場面もあったが、チーム  
メイトと協力しプログラムを  
修正できた」と話した。

東北大会は2日に行われ、  
湯沢雄勝地域の市町村、商工  
団体などで行われる実行委員会  
が主催した。毎年湯沢市で開  
かれている。

（小林智彦）